高知県病害虫防除所作成資料

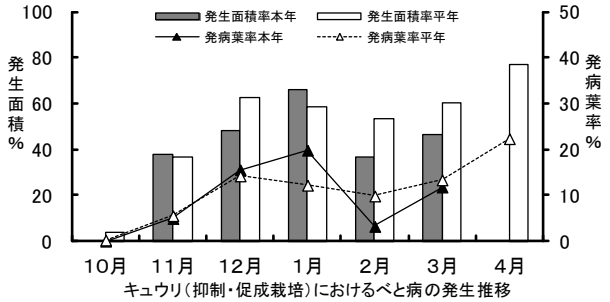
平成28年4月4日

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

べと病　　発生量:やや少

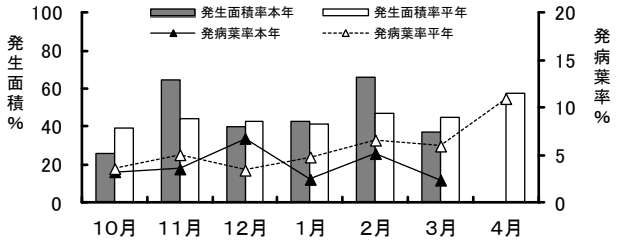
発生面積:中央部;少、中西部;平年並、西部;平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるべと病の発生推移

うどんこ病　　発生量:平年並

発生面積:中央部;平年並、中西部;少、西部;多

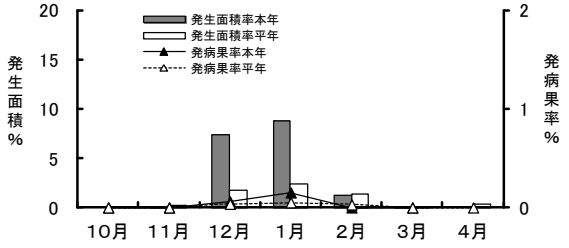


キュウリ(抑制・促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

4月は気温が上昇してくるため、特にうどんこ病の増加に注意してください。うどんこ病、べと病とも、蔓延すると防除が困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。(べと病参考薬剤:リドミルゴールドMZ、ジャストフィットフロアブル、ブリザード水和剤)(うどんこ病参考薬剤:パンチョTF顆粒水和剤、ファンベル顆粒水和剤、プロパティフロアブル)

菌核病　　発生量:平年並

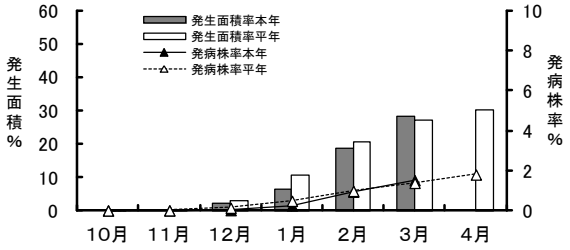
発生面積:中央部;少、中西部;少、西部;平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)における菌核病の発生推移

つる枯病　　発生量:平年並

発生面積:中央部;平年並、中西部;少、西部;多

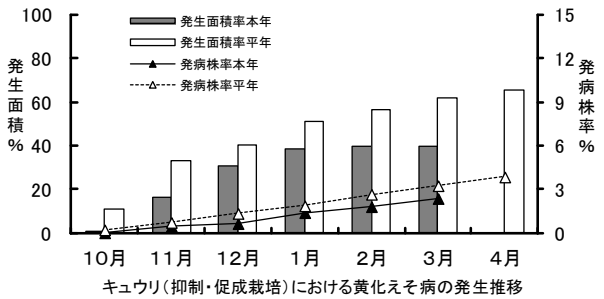


キュウリ(抑制・促成栽培)におけるつる枯病の発生推移

つる枯病の発病程度も県西部では高くなっています。作も終盤になっており、着果負担などで草勢が弱ると、つる枯病が一気に蔓延する恐れがありますので、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。(菌核病参考薬剤:スミレックス水和剤、セイビアーフロアブル20、ベルクートフロアブル)(つる枯病参考薬剤:ジマンダイセン水和剤、トップジンMペースト)

黄化えそ病　　発生量:少

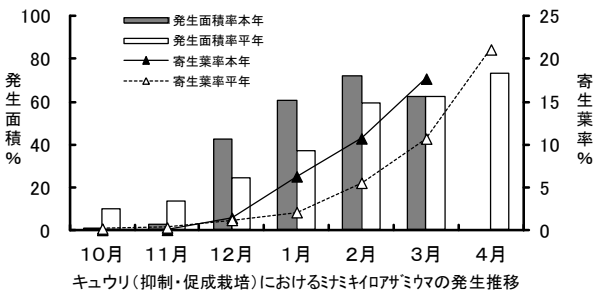
発生面積:中央部;平年並、中西部;少、西部;少



キュウリ(抑制・促成栽培)における黄化えそ病の発生推移

ミナミキイロアザミウマ　発生量:平年並

発生面積:中央部;平年並、中西部;平年並、西部;平年並



キュウリ(抑制・促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

県中央部ではミナミキイロアザミウマの寄生密度が高くなっています。4月はさらに気温が上昇するため、ミナミキイロアザミウマの発生が増加し、黄化えそ病も進展すると考えられます。媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を徹底し、伝染源となる黄化えそ病発病株を早期に除去してください。キュウリ生長点部に寄生するミナミキイロアザミウマは発見が困難で、薬剤もかかりにくく、密度が高くなると防除が難しくなることから、初期防除を心がけてください。

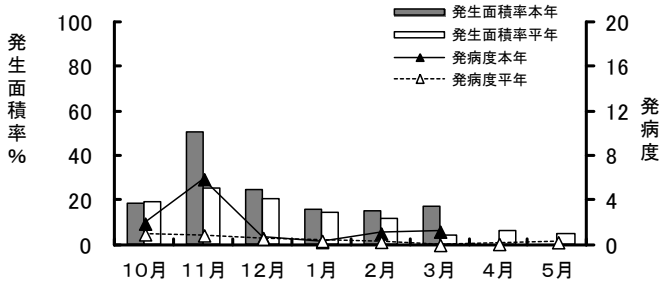
平成28年4月4日

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病　　発生量:多

発生面積:東部;多、中央部;多、西部;少

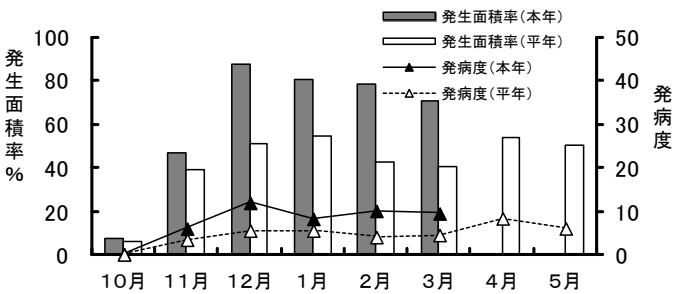


ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

県東部、中西部で発生が多くなっています。4月は気温が上昇し、病勢が進展すると思われます。温湿度管理、草勢管理を適正に行いましょう。(参考薬剤:パンチョTF顆粒水和剤、プロパティフロアブル、※パルミノ(スワル×))

黒枯病　　発生量:やや多

発生面積:東部;やや多、中央部;平年並、西部;多

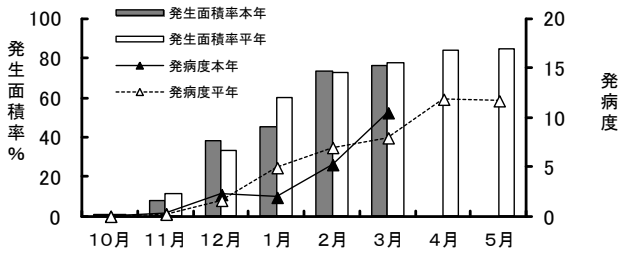


ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県全域で程度が高くなっています。先月よりは減少したものの、平年よりやや多い傾向で推移しています。4月は降水量が多い予想ですので、今後も発生の増加には注意が必要です。(参考薬剤:ロブラール水和剤、ダコニール1000、ゲッター水和剤)

すすかび病　　発生量:平年並

発生面積:東部;平年並、中央部;平年並、西部;平年並

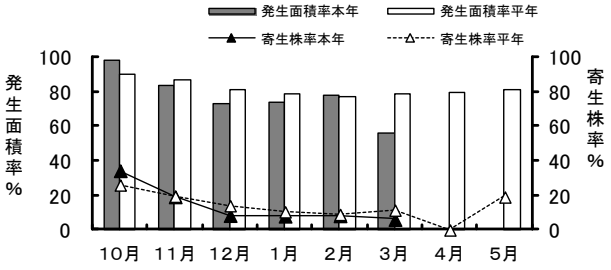


ナス(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

県西部では発病程度も高くなっています。4月の降水量は多い予想ですので、急激な病勢の進展に注意し、発病の見られる場合は早期に薬散などで対応しましょう。(参考薬剤:アフェットフロアブル、トリフミン乳剤、ダコニールフロアブル)

タバココナジラミ　　発生量:やや少

発生面積:東部;やや少、中央部;平年並、西部;少

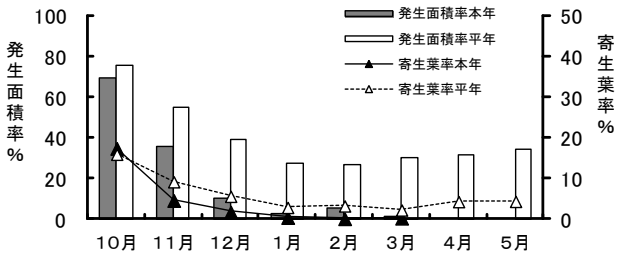


ナス(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

天敵の定着しているほ場では、急激な密度上昇はないと思われますが、現在発生が多めのほ場では今後の発生動向に注意しましょう。(参考薬剤:※コルト顆粒水和剤(タバコカスミ×)、※モベントフロアブル(スワル×))

ミナミキイロアザミウマ　発生量:少

発生面積:東部;少、中央部;少、西部;少

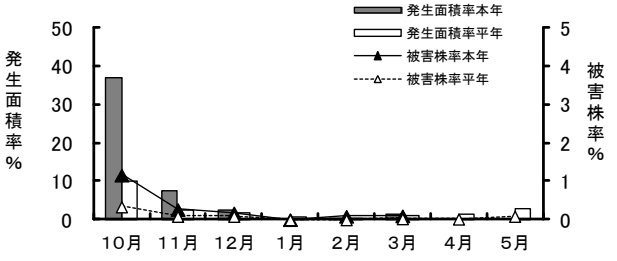


ナス(促成栽培)におけるﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

天敵の定着しているほ場では、急激な密度上昇はないと思われますが、気温の上昇にともない、徐々に発生が増加すると考えられます。天敵、害虫それぞれの発生状況をこまめに確認し、被害の拡大が予想される場合には対策を行いましょう。

ホコリダニ類　　発生量:やや多

発生面積:東部;少、中央部;多、西部;多



ナス(促成栽培)におけるホコリダニ類の発生推移

気温の上昇にともない発生が見られ始める可能性があります。発生に注意し、薬剤防除を行う場合は成長点付近を中心に、周辺株も含めしっかり散布を行いましょう。(参考薬剤:スターマイト、※パルミノ(スワル×))

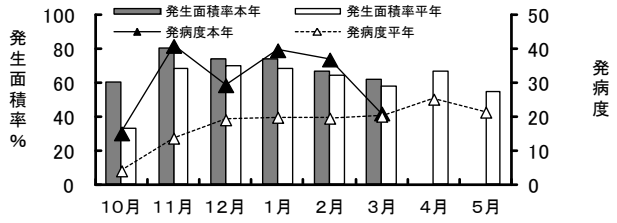
平成28年4月4日

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号（4月）
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン（東部・中央部・中西部）

うどんこ病　　発生量：平年並

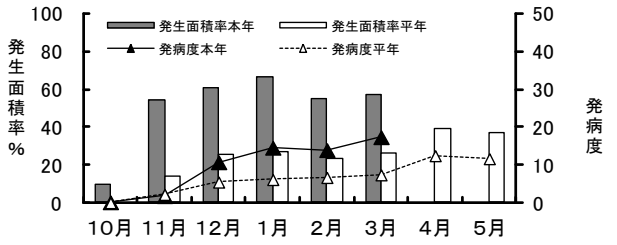
発生面積：東部；やや少、中央部；やや多、中西部；少



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）におけるうどんこ病の発生推移

斑点病　　発生量：多

発生面積：東部；やや多、中央部；多、中西部；やや多

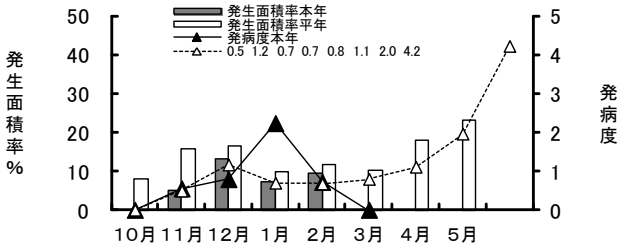


ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）における斑点病の発生推移

4月は気温が上昇し、降水量も多い予想ですので、うどんこ病、斑点病ともに増加に注意してください。両病害とも蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください。（うどんこ病参考薬剤：硫黄粒剤（こなでん）、※パンチョTF顆粒水和剤（ピーマンのみ）、※スコア顆粒水和剤（ピーマンのみ）、トリフミン水和剤）（斑点病参考薬剤：※アミスターオプティフロアブル（ピーマンのみ）、カスミンボルドー）

黒枯病　　発生量：少

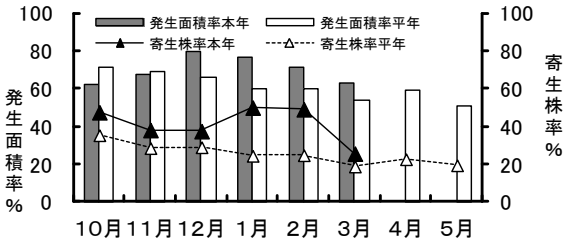
発生面積：東部；少、中央部；少、中西部；少



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）における黒枯病の発生推移

タバココナジラミ　　発生量：平年並

発生面積：東部；やや少、中央部；やや多、中西部；やや少



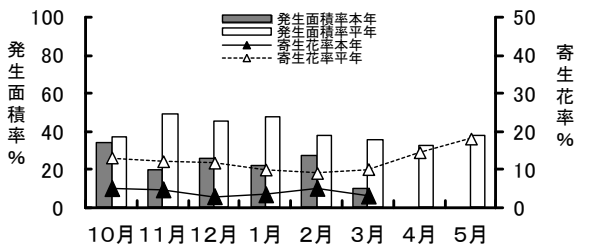
ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）におけるﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐの発生推移

4月の降水量は多い予想ですので、急激に発病が増加する可能性があります。適切な温湿度管理を行うとともに、発病葉については早めに除去し、ほ場外へ持ち出して発生の拡大防止に努めましょう。（参考薬剤：トップジンM水和剤、※ダコニール1000（ピーマンのみ）、ストロビーフロアブル）

天敵類の定着状況にもよりますが、コナジラミの成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならず、天敵のエサとなっている程度だと考えられます。天敵類が見えない状態で、コナジラミの幼虫が多く見られる場合には薬剤防除を行いましょう。（参考薬剤：※ベネビアOD（ピーマンのみ）、※モベント（スワル×）

ミナミキイロアザミウマ　発生量：少

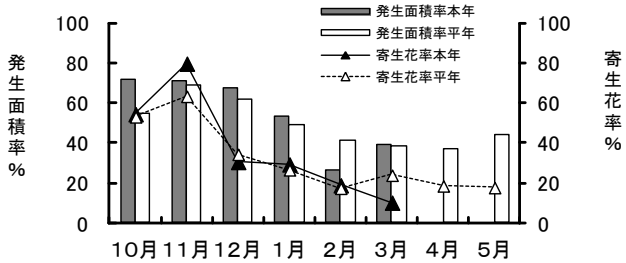
発生面積：東部；平年並、中央部；少、中西部；少



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）におけるﾐﾅﾐｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

ヒラズハナアザミウマ　発生量：平年並

発生面積：東部；多、中央部；平年並、中西部；少



ﾋﾟｰﾏﾝ･ｼｼﾄｳ（促成栽培）におけるﾋﾗｽﾞﾊﾅｱｻﾞﾐｳﾏの発生推移

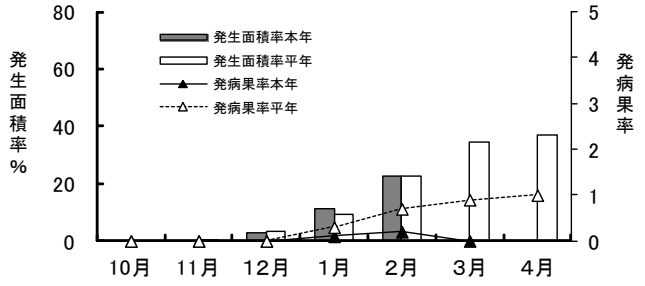
ミナミキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマともに天敵の定着や薬剤防除により減少傾向で推移していますが、4月からは気温の上昇にともない発生の増加が予想されますので、徹底した防除を行いましょう。なお、天敵導入ハウスでは、天敵に影響の少ない薬剤を選択し、防除を行うようにしましょう。（参考薬剤：※ベネビアOD（ピーマンのみ）、※モベント（スワル×）

平成28年4月4日

高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)
野菜類ダイジェスト版

● 促成トマト(中央部)

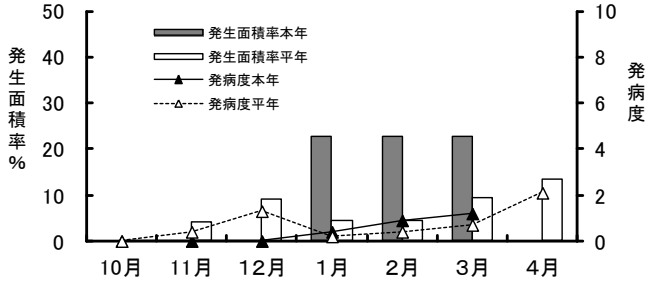
灰色かび病　発生量:少



トマト(促成栽培)における灰色かび病の発生推移

発生は減少しており、4月は気温も上昇してくるため、発生の急激な増加は起こりづらいと考えられます。適切な温湿度管理を行い、初期防除に努めましょう。(参考薬剤:アフェットフロアブル、セイビアーフロアブル20、スミブレンド水和剤)

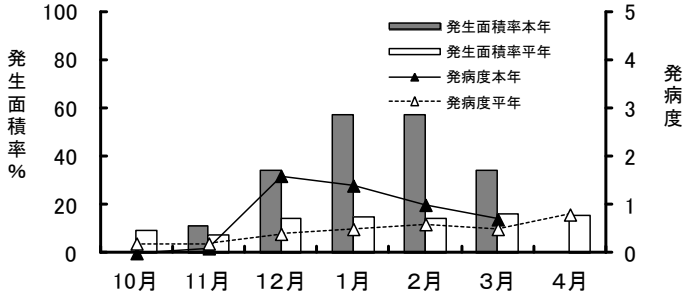
葉かび病　発生量:多



トマト(促成栽培)における葉かび病の発生推移

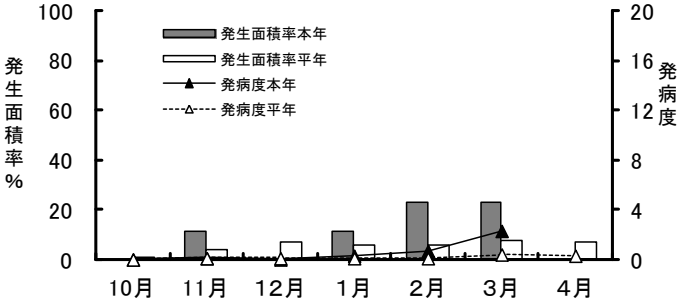
主は下葉への発生で、中位葉以上への進展はほとんど見られていませんが、4月の降水量は多い予想ですので、急激に進展する可能性があります。発生の見られる場合は早期の防除で対応してください。(参考薬剤:スコア顆粒水和剤、トリフミン水和剤、ダコニール1000、ファンベル顆粒水和剤)

すすかび病　発生量:多



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

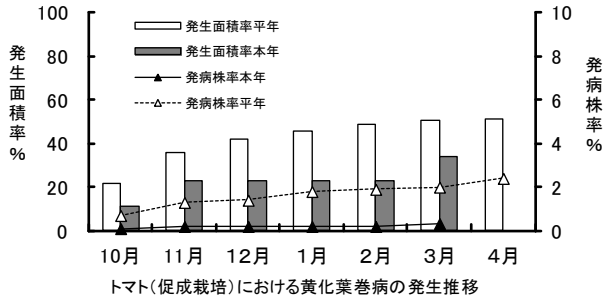
うどんこ病　発生量:多



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

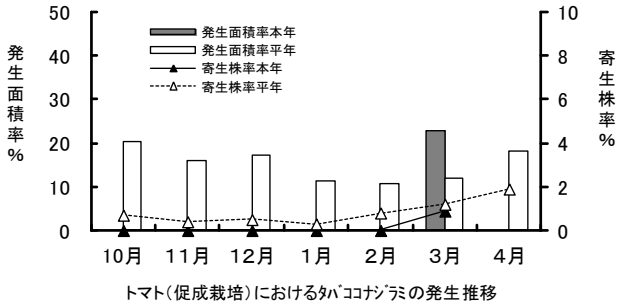
すすかび病は減少傾向、うどんこ病は増加傾向で推移しています。4月は気温が高め、降水量も多い予想ですので、両病害とも増加すると考えられます。特にうどんこ病は、3月時点で発生程度の高くなっているほ場も見られますので、今後の発生の拡大に注意してください。(すすかび病参考薬剤:葉かび病参照)(うどんこ病参考薬剤:アフェットフロアブル、パンチョTF顆粒水和剤)

トマト黄化葉巻病(TYLCV)　発生量:やや少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

タバココナジラミ　発生量:多



トマト(促成栽培)におけるﾀﾊﾞｺｺﾅｼﾞﾗﾐの発生推移

3月に入り、今年の調査では初めてタバココナジラミの発生が見られています。媒介虫であるタバココナジラミも発生に伴い、黄化葉巻病の発生も先月からやや増加しています。今後、気温の上昇に伴いさらなる増加が予想されますので防除を徹底しましょう。また、発病株は感染源になりますので可能な限り除去し、感染の拡大を防止しましょう。(参考薬剤:※コルト顆粒水和剤(受粉用ハチ×)、※モベントフロアブル(マルハナバチ×、サビダニ同時防除可能))

高知県病害虫防除所作成資料